

令和6年度 第2回 座談会 「どうなる？ どうする？ 語ろう！ 住まいの終活」 を開催しました♪

【日 時】 令和6年7月6日(土)
10:00~12:00

【場 所】 手鎌公民館

【参加者】 手鎌校区のみなさん 16名

【講 師】 一般社団法人 全国古民家再生協会
井上静夫氏
一般社団法人 住教育推進機構
山城京子氏



【内 容】 ・手鎌校区地域ESD推進事業の一環として、三班に分かれてカードゲームをしながら「住まいの終活」についてアレコレを語り合いました♪
・参加いただいた、ありあけ不動産ネット協同組合の島崎氏、平林氏からは「空き家・空き地相談窓口」の紹介もいただきました！

【カードゲームのルール】

- ・配られた赤、青、黄のカードの中から質問を選択します。
(答えたくないカードは選ばなくてよい)
- ・その質問に対し、自分の考えを言います。
(選択肢がある場合はその中から選ぶ)
- ・話を広げましょう。
(アドバイスなども聞く)
- ・否定はしません。
(他人の意見を聞く)

質問. 老後も今の家に住み続けたいですか？

(意見)

- ・住み続けたい。
- ・実家がなくなると寂しい・・・。
- ・未婚の兄弟が実家を相続したけれど、その後のことまで考えていなかった。どうしよう？

(講師より)

- ・早い内に、家族でざっくばらんに話しておくことが大事ですね。
- ・今は遺言を法務局に預けることができる「自筆証書遺言書保管制度」も出来ました。

質問. 祖父母の家はありますか？

(意見)

- ・あるので管理中。今は地域に迷惑をかけているかもしれないが、いずれは解体しようと親族で協議しているところ。
- ・一人娘なので、実家のこととか全部ふりかかってくる。



質問. 今後、空き家は増える？減る？

(意見)

- ・増えると思う。
- ・住まないのに修繕したくない。
- ・自分は、愛着のある実家に帰って来た。
- ・家族ができると動きにくい。でも定年退職のタイミングはチャンスだと思う。
- ・子どもたちが帰ってこないの、市にももらってもらえないのだろうか？

(講師より)

- ・市は公益性がないとなかなか受け取れないです。

質問. 転勤で空き家に。管理をどうする？

(意見)

- ・メンテナンスが大事だと思う。
- ・風通しをする。

質問. 近所に必要な施設は？

(意見)

- ・地区公民館。
- ・スーパー。食べ物は毎日のことなので。
- ・公共交通機関。交通の便が良ければ。

質問. 家を長持ちさせるためにしていることは？

(意見)

- ・定期的にメンテナンスをしている。でも費用が高い。
- ・早めに修理する。
- ・木部が悪くならないよう注意している。

質問. 近所の廃校をどうする？

(意見)

- ・解体する。
- ・公共施設にする。

(講師より)

- ・使えるものは有効活用ということで、宿泊施設になった事例があります。

質問. 家の周りに空き家がふえたら？

(意見)

- ・静かになっていいかも？！
- ・自分の家の資産価値も下がってしまうのでは・・・。



三つに分かれた各班ごとに盛り上がる会となりました。「参考になるような意見がたくさん出て、有意義な時間でした」と嬉しいご意見も頂きました！

また、「育ったところは無条件に好き！」「愛着のある実家に帰ってきた」というご意見があり、大牟田市や地域、実家への愛着があれば放置される空き家も少なくなるのではないかと、将来を担う世代にも地域や実家への愛着を育ててほしいなと改めて感じた会でした。

手鎌校区のみなさん、ご参加ありがとうございました♪